

# 世阿弥と利休における立ち位置の相違（私見）

2022.2.15 高岡  
2022.4.26 加筆

階層	世阿弥	利休
振る舞い	演者として、作品において座の上での雰囲気に応じて	場やシチュエーションによりアドホックに振る舞う
マネジメント ルール	座として 自分の芸で責任を果たす + 一座の中での役割を意識する	場は意識しているが ルールはない 自分の美意識に従う
著作	自著	他人による茶会記・日記 後世の著述 逸話
業	役者、座長	家業ではなかった？ 家長ではあるが座長ではない 趣味の延長
フィロソフィ	美意識 幽玄に代表される美	美意識 いわゆるわびの茶

以和為貴

和而不同

同じような場面であっても  
対応が異なる逸話がある  
シチュエーションの違い、年代の違い

現在の侘び茶像は  
江戸初期の人々が  
描いた理想像か？

考えていたのは  
茶頭職の世襲化ぐらいか

癒やし

鎌田先生のおっしゃる  
乱世のリアリズムと神秘主義と深く関係